

文芸

短歌

俳句

(栗崎) 日渡 君枝
父親と形が似ると言はれたる足の爪切
る父思ひつつ

(大沢) 鈴木美代子
軽い靴玄闔出れば広い空憂さを忘れる
わたしの宇宙

(塙) 矢澤 章人
春浅きうぐいすの舌舌たらず東風に漂
う「とちあいか」の香

(道祖土) 山口 秀雄
はらはらと如月二日雪の舞う鍋リクエ
ストわが誕生日なり

(塙) 宮本 恵美
卒業も間近となりし学生の後ろ姿に春
風が舞う

(上山) 野澤 一志
雨後の庭サンダル履きて足取られ霜柱
あとなお歩き難くして

(田町) 豊田 君恵
節分の夕べ柵に鯛刺し戸口に立てし母
思ひ出づ

(生田目) 小宅 光子
杉林の木の間を昇りくる朝日今日も一
日恙なくあれ

(塙) 野崎 繁
小刀で鉛筆を削りてくれし父わが入学
前の夜のことなりき

(栗崎) 山川 俊子
筑波山に夜雨の詩碑訪ねしはいつの日
か小川芋銭の文字もおぼろに

春セーター潜りてはたと失せしもの (山王前) 佐藤 恵子

愛称で呼び合ふ集ひ春セーター (東町) 佐藤 初子

春めくやすやすや眠る母の胸 (上大羽) 鈴木 英子

交番の窓の張り紙黄砂降る (前沢) 高橋 和代

楼蘭の沙やも知れぬ塵ぐもり (塙) 萩庭 正幸

寒林やチェンソーの音暮るる迄 (上大羽) 福島 文代

節分のがらまき子らのエリアへと (田町) 飯塚えり子

草萌えや書き込みふえる農事板 (下大羽) 池田 幸子

裸木の山林抜けて鳥の声 (栗生) 磯部 法子

地球狂るや降りに降りたる雪の闇 (大沢) 小川たか子

川柳

ありがとうたった一言あたたかい (山王前) 佐藤 恵子

わらべ歌恩師の思い今にあり (台町) 加藤よし子

なみなみと注がれた酒に口が寄る (台町) 野崎 光盛

久しぶり歩く歩数が長くなる (塙) 大関 栄泉

試着室好みの服は着られない (リパティ) 小沼美江子

明朗な孫の返事に頼む用 (台町) 桜井 トク

縁側で茶飲み友への小座布団 (生田目) 佐藤 峰子

新春の希望の船出地球旅 (台町) 石川ぶん子

お互いの手足となって夫婦道 (小宅) 床井 和子

好きなだけ食べて病気になる平和 (大沢) 鈴木美代子

新着図書を紹介

〈一般書〉

- 第二次大戦のイタリア軍装写真集 吉川和篤／著 イカロス出版
- にぎやかな過疎をつくる-農村再生の政策構想- 小田切徳美／著 農山漁村文化協会
- 職場がアプナイー働く人のためのメンタル系サバイバルガイドー 井原裕 斎藤環 松本俊彦／監修 日本評論社
- ジェンダー・トラブル 新装版-フェミニズムとアイデンティティの攪乱ー ジュディス・バトラー／著 竹村和子／訳 青土社
- 東京裏返し-社会学的街歩きガイドー 吉見俊哉／著 集英社

〈児童書〉

- シロナガスクジラ 加藤秀弘／文 加藤忠明／絵 福音館書店
- あなただけの物語のために- どうすれば自分を信頼できる? - あさのあつこ／著 筑摩書房
- ライオンのくにのねずみ さかとく み雪／作 中央公論新社
- ひろい海にぼくたちは生きて いる 長倉洋海／文 写真 アリス館
- シロツメクサはともだち 鈴木純／作 ブロンズ新社

読んでみませんか…

ゼロから始めるシードル醸造所

-リンコ産地で広がる新たなビジネスモデル-



小野 司 蓮見 よしあき／著 虹有社

リンゴを用いて作る発泡性の醸造酒であるシードルをご存知でしょうか？

お酒が好きな人なら、一度は酒造りに関わってみたいという夢を抱いたことがありませんか？この本は、リンゴ農家出身の著者が、酒造りを始めるための手続きや、廃校を活用した醸造所の開業、経営に関するノウハウをまとめたものです。



巨石運搬! 海をこえて大阪城へ

鎌田 歩／作 アリス館

大きなお城には大きな石垣がありますが、その石垣のなかには途方もなく大きな石がつかわれています。この絵本では、瀬戸内海にある小豆島から、大阪城を建てるために必要な大きな石を切り出して船で運ぶ人たちの姿が迫力満点に描かれています。